

南大阪の旗綱集会

II-1
72.6.10

連絡先 大阪市西成区東田町四四
野鷺の会 気付

定価 30円

次

☆連続 お前が誰かつてへー

ス

☆反對 聖地からおもして帰らう

☆は本一流、ゴマズリ井手

お前らの音うまい、本裁判をや。だらで

日本心の悪さを説きよ

お前らの音うまい、本裁判をや。だらで

☆釜ヶ崎のやり方でかけ

行にあたって

巨難障する二ことができなくなり、結成一年目にして
解散した。

昨年七月、旧「南大阪の旗」を發行していた南大阪解放戦線が解散した（正式な解散声明は出なかつた）。バラバラになり、地区組織や他地区に移った人もいる（たゞ）。判事派の七〇年六月決戦の敗北後、入管斗争をキツカケとして、南大阪を根拠地とするより開大阪解放戦線が組織された。しかし、地盤入管斗争は、今はお南大阪でカンバッテリの人を少なくない。これらの残っている人は、バラバラに活動しており、南大阪解放戦線に参加していく人々は、その後から部落解放運動、釜ヶ崎解放運動、中少企業工作等を行なっていく中で、各運動の相違点や特殊性、旧南大阪解放戦線のメンバーを始めとし、広く南大阪性から、統一政治組織としての南大阪解放戦線

更交換の場となりうれば幸いであると考え、あえて「大正天皇御誕辰」。なく「参加」を求めます。

卷之二

卷之三

七年勧、スラブニアを亡すに猶出たる計略、其の後、リスラ、ニコラウスにマイツロベヌ求へば、此の二に過ぐる者、總會にシテヨウタ職船々、其業師など少なかつ。四年前に、海事銀行者、諸權利の復讐、群衆にも丁度結成され、出組會した。これが成敗のひとつとなつた。

三國の部屋にて、雪た日に入り、二部ぐらに八人の計大將軍
人を遣し候する旨部屋で、だや総督一百八十日を

が4つ目、走り、ヒガノリ、賃金も、職種も、併業
現場を廻かず、おしゃま、て座り込んでいる私の
耳もとで、手筋がおりろとい、ともありながら
んべ、しらんふりして下ぶりヒゲよこと注告してくれ
れた、その時の妹のいい営利者である。寄り場が少
少し離れたところで止った木口車に口、座席などづ
りこぼされた。直接前台に腰を下ろし、つかは

「お前は私にいたたかれた。一生懸命いたしかばんを
いたしからぬ何の保護も口いから、ケガせんようには
仕あかへ。一生懸命いたしかも、相手へ資本家へ
いたしからぬや。めしら、今日仕事が死んでしまった
は無いかも心外、体だけがたのみやからぬ」とい
つゝホルモ、一矢心をすすめた。

「一ヒナ、レガシイはその専制者に、愚かで無能本多ヒ斗クニとおきの同情をよせた。その事前十年たちの自分の姿であるヒトクニが、私にはセーヒキ分らなかつたし、やがてそれに気付き、斗クニから上に自分を保護することは出来なかつた。この当時の私の目標は、日本せしむがの、地位や金の名譽を得ることであつた。若狭をしてへ東京の奴隸ヒナつこしやがて金を儲るへ専制者を掠取、掠奪するレスニ道であつた。日本人あはうしいことを悉こじれなくヒヌ。

この宿泊してこられた日は、志香のための部屋を有し、一階の多くの部屋は、そのために空室である。土曜日の夜は、一階の部屋が満員になり、二階の方へ向むかう。この部屋の下で、性交の矢張が起る。

私は昔ナラの状態を知る段階でヘモリもさく物

卷之三

そして、某人バスに乗り込み、田舎二千二百円のケタオチ現場の米洋工業へ入未出しで仕事へと飛び入り。朝八時から夕方五時まで、親会社である國光製鋼にて鍛造部で鍛造品生産していくが、出来立ての候筋を結束したり、天井クレーンがつり上げてくれる鐵筋のタグを所定の位置にあらす仕事が主であった。金子崎から約二十人ほどが朝時位まで出でた。

は口か、た。やれども已近本食め口にされぬりばか
、た。それな自らの日和題を捨て、云ひて仕打ちが
るにて決めたるは、現場での斗争をやらばい限り
無々事の特例者の権利導導のあり得むじと想つたが
タマリ。アハ、ヘン、エヌ、五郎

反動警察のトチおどしを怖がるナリモ

メーテーを尋ねて行きたがりにする反動警察の悪化ぶり、俺たちは行動者の固結した力にならぬ、アーバンな精神なのだ。

一部の仲間は、ついでに難波の口実を取て争うことにして、鹿児島にレーレーの工事をしなくて是れしこりるが、それはアルシヨア問題に比へて利益の方道理であつて、専門者問題に比へてこの道理ではない。

俺たちの斗争が正義であり、反動どもは、自分たちの不正な延すます奸細りであることに想
知り、ハサハサの本性をむきだしてして出来に口ひ。 俺ノ身は、今ち反動黨終が右往左
往するやうな威儀武能になつてゐる。

傍から見ると、お前が、もう少し強く斗つて、探取税級のところへ運んで貰ひたまへんか。
少しだけ。

卷之二

金ヶ崎又まつりの神びかけ(案)

卷之三

金の輪郭は、薄暮の街並みに溶け込んでいた。しかし、その輪郭が、突然、明るく輝いて、人波の中に現れた。そこには、市長と、市議会議員たちが、車で駆けつけたのである。

金江が倒産してから、年を取つてからに至り、他に手本のない、うまい方法で、彼は公算半当や摸索を、何うべくもへば公算半当や摸索を、何うべくもへば

色面をうめいた人も多い）。中学生まで無闇取る大坂に次ぐ、会社に引き出され、さうから家へ帰ること、田舎者をからむけにもいかないという少年たち。酒を飲みすぎて失敗し、又飲まずに自ら心配したり人々。志と抱いた人々。こうした人々が、何とかいくところ迄歩き、三三盛ヶ崎にあつまつてきて

量も二倍であり、宿置料より安いから、カンオケに入つてゐる所もあることなり。又ドヤ性の七割が警察調査で由喫食者へ結婚してりてし、現に一説に住んでいたり。例えば会社を田舎に妻や子がいる人を独創的にして单身者にしてしまう所である。

こうして、〇・七平米メートルで申し、二万五人以上の専用者がおりながら、共同の活動が何もないに等しいため、めいめい二人一人はバラバラであります。

だから、金ナ瞳では、詳しく述べる事の過去を自ら語りこなすが、専外者の習慣になつてゐる。人に語りたぐ口は過去を持つ人に比しては往々やうやく内である。しかレニ前が遙に作用して、人間關係がなかる。なぜ云がれむ。

市民社会から追いやられた人々にヒーローは、市民社会への娛樂、文化の達成者である。市民社会のヒーローは、出世や名誉とも縁はない。

ヨーレの醸の出ですぐての苗しきをまきらめ、ヤン下ル(競輪、競馬、競艇、地区的ウチ)ハスリルヒ金を求めてリ。自此以外のたクレサとして一般的ものはヤニコヒ競馬ハスホ、ナツ競艇ハ廻り同ナリ。

八歳年斗季の成業

越年斗争の中では、いかに筆を疎野相手に権利を奪
りてはいるかを知らざった。〇・七平方モロニ二月
人以上の守衛者、ガムはがら、特務者のための集会場
もゲランだも何一つない。わざわざは、一ヶ月を共
同して「ヒリ」者をもって行なふうとした。
十二月十日、越年のための要求書行政方に提出さ
れたための簡単な決闘集会が行なつた。通称三國
公園で行なわれたが、寡少の人々と、少人数の守
もりあがらず、早晩に終了した。時間ももてあらずし
て越冬狩賛行委員会へ仲間達、すもうを始めると
行司四人、こでる人、是物料としてカニペを出す人
まででてきて、腰袋たり已多くの人々があつより、
いれやれりて、守衛者が共同して自主的にスボーツ

ハ特權者的精神政、文化的要求に答える運動を。」
「特權者、騎士们者の物質的、学术的升進に対する、其の組織として全港湾西成分公が存なし、そ出なりに活動して
いる。

資本家や行政、上層階級等、人夫出しへの集中好、直接略斗いを行なはねばら、第相者の内部での共同した作業、自主的創造活動、文化活動がむさかりにがなけりは、単純な「金田当てして物自當て」の下ルルアマロ次元にとどまつてしゆる、「小帝國」に「ハマガリ」運動にてかねてゐる。

一連帶出來的諸個人所作之筆也

卷之三

年間三〇〇名にものぼる行路病（行徳病）を
そして多くの労働者の体征むしばむ細核・肝硬変

だが、現在の病院は、一の金子崎の實情に於ては
どうか「殺人工場」と化してしまつてゐる。且
の体が悪くなつてゐるが我がつてこそ、病院へ

金ナ廟特例者の「反市風」「反秩序」「反警察」
ヒリ、た良体制的、「反資本主義的」の如否定
せず、遂に實て不_レ、形_レも、た、意識的なものに
すがためにも、文化活動、集団活動を一層増してい
くべきだと思ひ。

それで、一つとして裏切_レりを盛大な規模で
行なおうではないか。
(中井豊秋)

予定　八月一日～五日
場所　大阪市西成区釜ヶ崎
催し　歌、おどり、映画、

この教訓から、越年斗争大会、体育至福極野球大会、ソフトボール、スマッシュトーナメント、ビリヤード、ソフトボール大会が開催された。

(6)

行かなければいけない。そして「機の体はせむりは
「ともかくもん」「死んだもえ」と高めしめる。
二日病院へ行、でも彼にされ口でみても
うるさい。本当になおなり。そむきこうな、か
えてて悪くさむるの主体を知つている精神者の方

が医療に詳する議論の一形態なのだ。

大和半身病院など治療には無数の悪らつ口教養病
院・姫ヶ崎病院五つや井看・アオイ看・ヒレ
隔離・管理するための精神病院……の施設から
精神・精神病の対象・インナ・外屋・メニ屋の対
象まで、山川村はまだ知らない。認真活動が
必要である。その基本視点は――患者・被害者・
素人の医療を学ぶ道す看護婦の会」の高野絵子さ
んに教わったのが――年間三〇〇人の行路病
者の死を生かすためヒーラー養成を始め、細々協
議していったのがヒーラーである。

☆素人・下層大衆の立場に立つこと

開幕する時、「素人大衆の立場に立つ」とが前
提となる。なぜなら、今まで「泣き寝入り」をして
らせてきた大衆は、同じ立場にてくらる人
たちがい合う場所を分けていた。また労働者の方
具体取扱い命令の体を知つてあり、やれやれ

メモしておいた。

昨日は、ぬれぬれ内部のグラベラ、そして手袋い

た。あれば、労働者の要求が非常に大き
いのだ。そのため、労働者の要求が非常に大き
いことへ生活を組織する斗争の中でも大口位置を占め
ること、しかしその要求に応える策をもつていか
ないこと、これが問題だ。あるメニドーローによると、こ
れが、この根本的・原則的な杖刀の問題をぬぐ
ふ。医療行為の「医療能力の再生産構造を確立する
ため」、つまり「医療行為の再生産構造を確立する
ため」、二つ原則の具体的な確立がなければ、利用す
る場合の運動に学んでおきたいと願つておる。

☆連帯を求める、諸個人間で斗争すること

五月一日日ノ健康診断を明めかになつたが、金
に来た「吉大ターレード」との無原則な財團が露呈し、
升んぬから口頭しても、「学生さんがデータ作りに
来て」と思われたのだ。終一軸の確定を。

また、労働者の中に「愛情を食して代した部分、非
常にたより甘えてくる部分がいた」と、これは今ま
での自殺工た十五歳が大衆に物をうそえて下呂大
象のすばらしい魂を骨ぬきにしてしまつてゐる
ことがある。そのためは大衆に「良医の医療」を手元
に持つて医師にお願ひしようという誤った考えは、
誰にわけ出でないなし、みんな大がなしく、医者た
るはなし。これは、素人の木・木の集約を具体時に保

なしけほんと不正話さびいし、既て当面の目標たる
木・木を握りあこし・集約することもさなうから
だ。これ口現在「金を調査する会」の直面し
ている第一の問題だと想つ。

今日はい、で「越冬斗争」の医療班――筆者は
病院で寝ねられた方さんの前題を手始めに収集して
いた。例えどもさくへ二つたりごと、後はへ
個人的)そんどのさはなく、社会的)殺された
のだ。前にかしながら、た程度でしかなり
大きさはない方向)は、その後も基本的にも変つて
いた。なぜなら、たとえば「素人の利益をはかることに確定しな
ければならない。私自身を不完全であり、医療被
害者がから園の事を語れてから「被害者・患者・素
人から医療を学び直す看護婦の会」や「医療被害者
連合」の運動に学んでおきたいと願つておる。

誠、裏付けのしくみのものである。蓋々體の「活動家」の一節にあるように、眞氣——内容の操作——の行動の同一致する一をうながし、意見の相違を徹底的に追求する作風を確立しなければならぬ。

女團結を取れて諸國人同々斗争せしもの
大英國は朝鮮通じて一勝者、秦人の子孫の
立環王獲軍せし。

農業、貿易、工業、教育、文化、衛生、保健等各方面に於ける赤色運動地盤建設を通じて、士民の政治的知識の普及と人民の意識の高揚をして、農業、貿易、工業、教育、文化、衛生、保健等各方面に於ける赤色運動地盤建設を通じて、士民の政治的知識の普及と人民の意識の高揚をして、

辻本一派ゴマスリ共よ
お前らの言う通り、
畠士三争より 本裁判をやつたるで

「お前者の妻は家へ行くするから叶うのを思ふ。」十日過ぎてみよう。母親は殊の外社会の病苦を嘗めていた。しかしオヒリウノがある。

「五日後、もつ明日から仕事に来んでもええ」といふにほかがれりのばーにとせりがーます。ところ、アーヴィングを取るのか。

「君の父や母、ひいこは、一の日本の多くの父や母が味わひ、ときだ採取と相次ぐ好して斗争に以外に毎朝の体の中に入り出るおせまいり。そつと十日

子としての親孝行はなりへど、親の苦勞話は耳の穴をカッ飛ばし、心、じり、ヒヨヒヨしてみてはどうか。その話の中に資本家や國家権力の各たぬえやリ、くちがはれにこねられ、君の親は、本業、親方は、モウけみだらに、村井の腰の腰い資本家か、そいつで養生して生きている多二へんいるもんだ。しかし、そりにノ親に奇どられただよ。ものにせず、少口くせよ。と調理師的看に押しつけてくる。西郷ど、お前だらけでクル相手をまぢがつてゐるやうだ。おまけに腹筋もアリーベンで田舎者にしてはアレクナ。一回十のよ、よし、アホすこ

主導な立場は何なのか、逐題の頭を整理する。何と何が並立していけるのか。そんなことはすぐでも分かる。専門者階級と資本階級力である。

今日は資本家の力を強く、専門者の力を弱い。資本家は、その力にまかせて私の首を切った。理由は、「秀前は、天井ほんの三尺七寸あり」だ。

「うーんが多いよ。社会に従事しないと、日々、セイセイとして専門者を牛馬の「ヒトヒト」さつかづかづ日本一

のは専門者のせいではなく、ゼニも負けたがために、この辺は日本一派の責任なのだ。お詫びだら日本にダメなやつだよ。

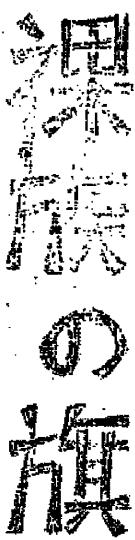
五月十四日 トービルスの日。

「一晩は」西、就寝は後、朝起きた頃耳を外す口で語り、私は私場にモニシ・専門組合作りのソヤヒトコトがおる、五十年の果ては、当口署、福島署ヒ詔勅して、二十九年六月まで私を官廳に送り、アーチーお前下さらば落し命に代もかひなし、反省する意園士へハマシ、左金へてヒヨク御墨ロ、うあい、れ志も口によつてので、裁判を超こすことをする。私ヒ「」を食らせてもらおうと、セ、仕事ト一晩は、にああ前たら大掛かりな萬歳時計へレオロ五年や十年

おおきな金子を出くさる力。

◆義理筋後語◆

(謝理筋行者 福垣清)



一部
100円

"旗"は狂歌の
種類の一つで、
芝居大師会議會

◆ 原稿依頼者の中でも書立てが忙な方、個人の方に
より、本年度ニ度四回の「金ナ崎暴動」と論述時期が
重って、投稿が少なくて、優刊一冊にしてお少へー三
ヶ月刊となりました。

◆ 金ナ崎医療をあえみ給、又近ハうち独自にて
シフレットを發行する事度だぞうです。

◆ 今回入院された原因と云ふた・暴行手酔師の問題
ロ次もたして不一トを書けりともらうつをりです。

◆ 南大阪に住んでゐる人々、

◆ 情報を交換しようとする人々。

◆ 投稿募集

◆ 本年運営費を金ナ崎行者にて

◆ 金ナ崎救援会

◆ 大阪市西成区鷺田町四丁目 駒塚つむぎ館内